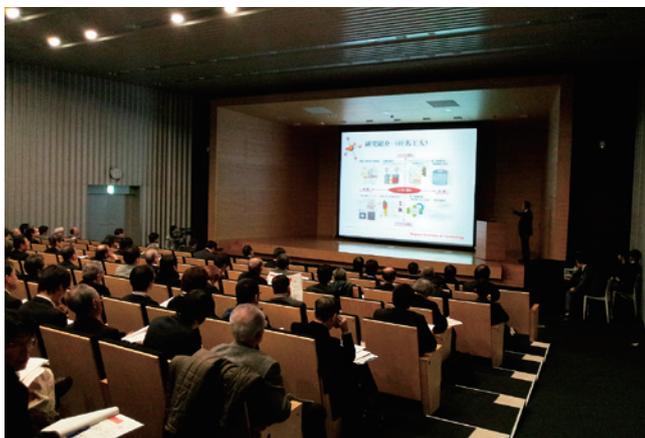


## 第1回次世代自動車公開シンポジウムを開催

●グリーンモビリティ連携研究センター

グリーンモビリティ連携研究センターは、1月10日(火)、野依記念学术交流館カンファレンスホールにおいて、第1回次世代自動車公開シンポジウム「次世代電池技術の深化をめざして」を開催しました。

このシンポジウムは、経済産業省中部経済産業局の次世代自動車地域産学官フォーラム事業と連携し、次世代電池



講演の様子

技術の現状と最新動向を紹介するとともに、議論を通して技術を深化させる足がかりを得ることを目的としており、東海地域の企業、公益法人、大学の関係者など150名が参加しました。

同センター長である宮田理事の主催者あいさつで始まったシンポジウムでは、佐藤 登サムスンSDI株式会社常務、入山恭寿工学研究科教授、中山将伸名古屋工業大学工学研究科准教授、齋藤永宏同センター教授、松見紀佳北陸先端科学技術大学院大学教授及び射場英紀トヨタ自動車株式会社電池研究部部長から最新の研究発表があり、参加者との意見交換が活発に行われました。最後に齋藤教授からあいさつがあり、盛況のうち閉会しました。

その後会場を移して交流会が行われ、参加者の間で懇親が深められました。

同センターは、引き続き、3月12日(月)に第2回シンポジウム「超軽量化技術の深化をめざして」を、3月21日(水)に第3回シンポジウム「次世代自動車材料研究の地域間連携をめざして」を開催する予定です。

## 減災連携研究センターシンポジウムを開催

●減災連携研究センター

減災連携研究センターは、1月6日(金)、ES総合館ESホールにおいて、減災連携研究センターシンポジウム「これからの減災を考える～人と街をまもる連携研究をめざして～」を開催しました。

同シンポジウムは、今年1月より同センターが学内共同教育研究施設として発足したことを記念して開催されたも



集団討論で発言する福和センター長

ので、藤井理事のあいさつの後、福和減災連携研究センター長が今後同センターがめざす方向性等について説明しました。

続いて第1部として、「減災への提言、連携研究に望むこと」をテーマに、いずれもセンターの客員教授である岡村行信産業技術総合研究所活断層・地震研究センター長、金田義行海洋研究開発機構地震津波・防災研究プロジェクトリーダー、斉藤大樹建築研究所国際地震工学センター上席研究員、富田孝史港湾空港技術研究所アジア・太平洋沿岸防災研究センター上席研究官、藤原広行防災科学技術研究所社会防災システム研究領域長による講演が行われ、最新の研究成果等が報告されました。

第2部では、同センター客員教授である隈本邦彦江戸川大学教授をコーディネーターとして、第1部の登壇者や、福和センター長、会場の同センター兼任教員及び行政や企業、メディア、地域の方々が討論を行い、今後の同センターの活動に望むこと等について発言がありました。

会場には約180名の方がつめかけ、同センターに対する期待が感じられました。より良い組織構築に向けた提言を多く受けることができ、有意義なシンポジウムとなりました。